

聞こえる人も、
聞こえない人も

手話で
楽しむ

第6回

能狂言
鑑賞会

「土蜘蛛」シテ：大島輝久（撮影：前島写真店）

手話狂言「成上り」/ 手話能「土蜘蛛」

令和4年 7月18日（月・祝） 13:00開演/12:30開場

十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）

●チケット（全席指定）3,500円 ●前売開始 令和4年 6月3日（金）

●チケット取扱い

・喜多能楽堂

窓口／電話 03-3491-8813（10:00～18:00）

WEB <http://kita-noh.com/>（要事前登録・無料）

・（公財）品川文化振興事業団

窓口（9:00～）スクエア荏原、メイプルカルチャーセンター、O美術館（発売翌日以降10:00～）

電話（10:00～）03-5755-2064（文化企画係）

WEB <https://shinagawa-culture.or.jp>

社会福祉法人トット基金理事長

“黒柳徹子さん”ご推薦

お能を手話で楽しむ会を、
喜多能楽堂の皆様がお考え
下さいました。能楽師の方が、
手話で演じられるのです！

お囃子や「間」もわかって頂
けるよう、「ボディソニック席」もあるそう
です。本当に楽しみです。沢山の皆様が劇場に足
を運んで下さいますように！



主催：公益財団法人十四世六平太記念財団、品川区 共催：公益財団法人品川文化振興事業団

協力：社会福祉法人トット基金、一般社団法人三宅狂言会、バイオニア株式会社 後援：社会福祉法人品川区社会福祉協議会

お問合せ：喜多能楽堂 TEL. 03-3491-8813
FAX. 03-3491-8999
<http://kita-noh.com/>

・ご自身の身近に新型コロナウイルス感染症に感染した方、またはその可能性のある方がいらっしゃるお客様、入管法に基づく入国制限の対象となっている地域から日本への入国後14日間経過していないお客様のご来場はお断りいたします。・会場入り口前で手指の消毒、検温を実施させていただきます。体温が37.5℃以上の方、あるいは体調の悪い方のご入場はお断りさせていただきますことがございます。



聞こえる人も聞こえない人も一緒になって能狂言を楽しんでほしい。そんな思いを込めて喜多能楽堂では「手話で楽しむ能狂言鑑賞会」を開催しています。長く国内外で高い評価を受けている日本ろう者劇団を迎えて手話狂言を披露していただくとともに、同劇団の協力によって能楽界では他に例のない出演者自身の手話による能の上演に取り組みます。演目は手話狂言の代表的レパートリーから「成上り」と喜多流の能「土蜘蛛」。日本を代表する伝統演劇の上演が、手話という“見る言葉”の力を借りてどのような新しい姿を見せるのか、どうぞご期待ください。

プログラム

◎ 解説（手話通訳付き）

本日の公演について手話通訳を交えて解説

大島輝久（シテ方喜多流） 三宅近成（狂言方泉流） ほか

◎ 手話狂言「成上り」

主人と太郎冠者が鞍馬へ参詣に出かけお籠りをしているとその隙にすっぱ（騙り者）が太郎冠者の抱えている主人の太刀を青竹にすり替えて逃げ去ります。太刀が青竹に成り上がったと取り繕う太郎冠者ですが…。三宅狂言会の声の出演に合わせて日本ろう者劇団のメンバーが生き生きとした対話としぐさを息の合った手話で演じる狂言です。

（シテ・太郎冠者） 小泉文子

（アド・主人） 数見陽子

（小アド・すっぱ） 鈴まみ

（声の出演） 三宅狂言会



前回公演より

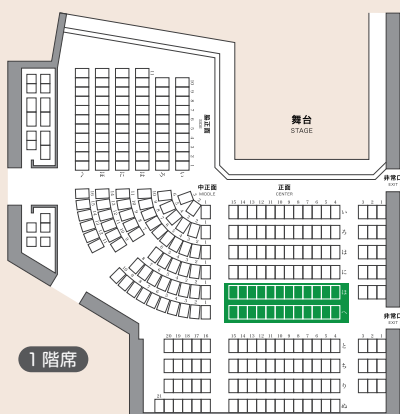
日本ろう者劇団

女優の黒柳徹子さんが設立された社会福祉法人トット基金が昭和57年に発足した、ろう者を主体としたプロの劇団。三宅狂言会の指導による手話狂言、劇団独自の創作による視覚演劇、サインマイム、ムーブメントシアターなどの公演を各地で行い、演劇を通してろう者の文化の向上に努めている。中でも手話狂言は新しいジャンルの演劇を創ったことで数々の栄誉に輝いた。欧米各国での公演を通して海外との文化交流にも力を入れ、日本を代表するろう者の劇団としますます活動の場を広げている。 <http://www.totto.or.jp>

● パイオニア・ボディソニック（補助サービス）席をご用意します。

音楽は耳だけで聴くものではなく、体全体で感じるもの。この考えからパイオニア株式会社が開発したシステム。振動装置が組み込まれたポーチとザブトクッションで、聴覚障がいの方も全身で音楽を楽しむことができます。同社の社会貢献活動としてこのシステムによる「身体で聴こう音楽会」を各地で開催しています。

<https://jpn.pioneer/karadadekikou/>



パイオニア ボディソニックエリア

正面 ほ列 4～15
へ列 4～15

※聴覚に障がいを持つ方
にご用意しています。

※喜多能楽堂のみ取扱い。

◎ 能「土蜘蛛」

病床につく源頼光に薬を届けに来た侍女の胡蝶が去ると、いつのまにか怪しい僧が現れます。古歌を詠じた途端に僧は蜘蛛の糸を投げて襲い掛かりますが、頼光は撃退。駆け付けた独武者が僧の流した血を見つけ、従者とともにその跡を辿り古塚に至ると、土蜘蛛の精が姿を現し糸を繰り出す土蜘蛛と武者たちの激しい戦いが始まります。出演者みずから手話を交えて演じるという前代未聞の一番です。

（前シテ・僧、後シテ・土蜘蛛の精） 大島輝久

（シテ連・頼光） 佐々木多門

（シテ連・太刀持） 塩津圭介

（シテ連・胡蝶） 大島衣恵

（ワキ・独武者） 村瀬提

（アイ・独武者の下人） 三宅近成

（笛） 栗林祐輔

（小鼓） 飯冢孔明

（大鼓） 大倉栄太郎

（太鼓） 大川典良

（地謡） 香川靖嗣 出雲康雅 長島茂 高林伸二

栗谷充雄 友枝真也 佐藤寛泰 佐藤陽

（後見） 金子敬一郎 栗谷浩之

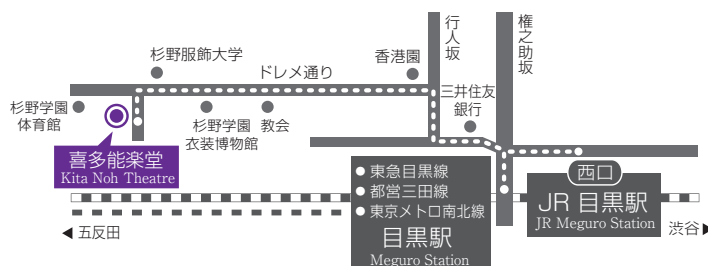
・上演台本 大島輝久

・演出 大島輝久 三宅右近 三宅近成

・手話振付 江副悟史

・監修 高林白牛口二

会場：十四世喜多六平太記念能楽堂（喜多能楽堂）



〒141-0021 東京都品川区上大崎4-6-9

JR線・東急目黒線・都営三田線・東京メトロ南北線ともに目黒駅より徒歩7分。
目黒駅西口よりドレメ通りを直進。杉野学園体育館手前を左に入る。

※当能楽堂は駐車場施設がございませんので、お車でのご来場はご遠慮願います。

新型コロナウイルス感染対策ガイドライン
<http://kita-noh.com/covid-19-guidelines/>

